



為石小学校の合言葉 「ためし 最高! ~地元で学び 地元を活かし 地元とともに行動する子ども~」



- 楽しく めあてをもって しっかり学ぶ
- 正しく めあてを しっかり守る
- たくましく めあてに向かって しっかり鍛える

学校だより



ためし



令和7年10月24日号 文責 上久木田 雄二

AIの時代の学び方

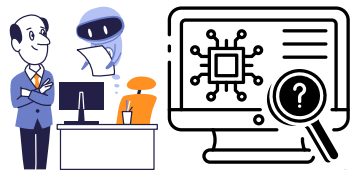


学校現場にも生成AIの活用が少しずつ進んできました。私が教員になったころのことを考えると雲泥の差です。それどころか、異次元という方が近いかもしれません。

私が校長として話すときの原稿を見直してもらったり、アイデアをもらったりしています。

文部科学省や教育委員会から送られてくる「通知」をAIに要約してもらい、先生方への説明に役立てたりしています。

この学校だよりに使っているイラストはすべてAIが示してくれてものを使っています。



世の中は劇的に変わってしまったと感じざるを得ません。

これから生きる今の子どもたちが社会人として生き抜く世界は、劇的な変化を繰り返し、様々な価値観が提供されます。自分の中で「考え」「試行錯誤し」ながら、自分なりの価値観を創り上げることができなければ、乗り越えることができない世界になるのです。

SNSの「いいね!」に代表される、周りからの、半ばいい加減な価値観に惑わされない自信がありますか。

繰り返し目の前に出される情報だけで判断せず、発信元や根拠をしっかりと捉えて自分の考えを導き出す習慣を身に付けていますか。

AIの時代は、たくさんの知識を覚える必要はなくなります。というよりも、AI以上に知識を身に付けることは、もはや不可能だとも言われています。(AIはすでに東京大学の入学試験をパスするのだそうです。)

覚えた知識も数年後には陳腐になりかねないとも言われています。

AI時代だから必要な力は、

考える力・見極める力・判断する力
表現する力・伝える力

です。

人と人との対面コミュニケーション能力や、心の痛みが分かるアサーティブネスは、知識以上に大切な生きる術であることを、AIの時代が私たちに教えてくれているのかもしれません。

HPはこちら



二次元コード読み取り 「カラー版は、ホームページでご覧いただけます。」



長崎っ子の心をつなぐ教育活動